

環境活動レポート

平成28年度版

(取組期間:平成28年7月～平成29年6月)

作成:平成29年7月11日



水と空気を管理する—

山陽技研株式会社

山陽技研株式会社

目 次

	Page
1. 事業概要	1
2. 環境方針	2
3. 環境目標とその実績	3
4. 環境活動計画内容	5
5. 取組結果の評価	6
6. 環境関連法規等遵守状況	7
7. 代表者による全体評価と見直の結果	9

1. 事業概要

(1) 事業者及び代表者名

山陽技研株式会社

代表取締役 井上 沙緒

(2) 所在地

◇本社◇

〒700-0941 岡山県岡山市北区青江4丁目8番1号

TEL: 086-231-0248(代)

FAX: 086-222-7824

URL: <http://www.sanyo-giken.co.jp>

◇営業所◇

〒712-8032 倉敷市北畝2-17-27

TEL: 086-454-0902

FAX: 086-454-0903

(3) 環境管理責任者及び担当者

責任者 常務取締役 近田 幸典

担当者 総務部 中村 郁恵

E-mail: soumu3@sanyo-giken.co.jp

(4) 事業内容(対象範囲)

建設工事における給排水衛生、空気調和、防災、その他設備工事、設計施工

(5) 事業の規模

従業員数 48人 (平成 29年 7月現在)

売上高 31億円 (平成 29年 6月期)

2. 環 境 方 針

当社は、環境保全の必要性和経営における重要性を認識し、社員一丸となって積極的に環境保全活動に取り組みます。

環境汚染、地球環境温暖化の深刻さに興味を持ち、一人ひとりが高い意識をもって継続的に環境保全に努めます。

特に、当社では「**水と空気を管理する**」をキャッチフレーズとしておりますので、節水やガソリン使用量の抑制に積極的に取り組んでまいりたいと思います。

○活動方針

- (1) 本来業務の改善となるよう無駄をなくします。
- (2) 地球温暖化防止のため、省エネルギー・省資源を徹底します。
- (3) 水環境の保全に努めます。
- (4) 廃棄物の削減、リサイクルに努めます。
- (5) 環境関連法規を遵守いたします。
- (6) 当社の全ての従業員にこれらの方針の周知を図り、環境保全に対する意識の向上を促します。

平成 28 年 7 月 1 日 更新
山陽技研株式会社
代表取締役 井上 沙緒

3. 環境目標とその実績

表1に当事業所における環境目標と実績(総括)を示す。

○主な環境負荷の実績及び目標

【表1 環境目標と実績(総括)】

項目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成28年度	達成率 ※1	平成31年度
		実績	実績	目標、1%削減、前年度比	実績(備考)		目標、3%削減、対28年度比
①二酸化炭素総排出量	Kg-CO ₂	187,639	185,680	183,042	198,544	0.92	192,587
二酸化炭素総排出量(単位売上当たり)	kg-CO₂/単位売上	536	668	658	640	1.03	621
電力 ※二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	44,320	43,748	42,528	45,932	0.93	44,554
	kWh	61,641	60,846	60,238	65,060	—	63,108
単位売上当たり	kg-CO₂/単位売上	127	157	153	148	1.03	144
化石燃料							
ガソリン 二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	131,964	135,293	133,941	145,139	0.92	140,785
	ℓ	56,881	58,316	57,733	62,560	—	60,683
単位売上当たり	kg-CO₂/単位売上	377	487	482	468	1.03	454
軽油 二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	11,355	6,639	6,574	7,472	0.88	7,248
	ℓ	4,334	2,534	2,509	2,852	—	2,766
単位売上当たり	kg-CO₂/単位売上	32	24	24	24	0.98	23
化石燃料合計	Kg-CO ₂	143,319	141,932	140,514	152,611	0.92	148,033
②廃棄物合計(単位売上当たり)	kg/単位売上	235	272	269	182	1.48	176
産業廃棄物(総排出量)	Kg	68,400	66,100	65,439	45,700	1.43	44,329
単位売上当たり	kg/単位売上	195	238	235	147	1.60	143
事務系一般廃棄物(総排出量)	Kg	13,700	9,400	9,306	10,600	0.88	10,282
単位売上当たり	kg/単位売上	39	34	33	34	0.98	33
③水	Kg	191,500	205,500	203,445	240,000	0.85	232,800
単位売上当たり	kg/単位売上	547	739	732	774	0.95	970

④化学物質使用量は微量の為、現状維持に努める

⑤グリーン購入について

再生紙・リサイクル可能製品の優先的購入を続ける。

具体的には、使用頻度の高い、1. トイレtp>ーパー、2. フラットファイル、3. 作業服の3品を重視して購入する。

⑥自らが施工・販売・提供する製品及びサービスに関する項目

省エネ製品の推奨(詳細は環境活動計画に準ずる)

◆ 平成26年度より7月～翌6月を単年度とし、各年度毎に算出することとします。

※1 「達成率」は、平成28年度目標と平成28年度実績(備考)を比較し、算出しました。

廃棄物については「最終処分量」を比較し、算出しました。

※2 電力の二酸化炭素排出係数は0.706 (t-CO₂/kWh)としました。(中国電力 平成26年度実績による)

○ [目標の達成状況 …表1 「達成率」欄に対応]

・ 二酸化炭素総排出量

平成28年度目標 (183,042Kg-CO₂) に対して達成率92% (198,544Kg-CO₂) と未達成。

・ 産業廃棄物

平成28年度目標 (65,439Kg) に対して達成率143% (45,700Kg) と目標達成できた。

・ 事務系一般廃棄物

平成28年度目標 (9,306Kg) に対して達成率88% (10,600Kg) と未達成。

・ 水

平成28年度目標 (203,445Kg) に対して達成率85% (240,000Kg) と未達成。

○ 評価

産業廃棄物以外、目標達成することができなかった。

二酸化炭素排出量の未達成については、今期は遠方の現場が増加したことが原因と考えられる。

事務系一般廃棄物の未達成については、現場に伴う資材の納品数が多かった為、段ボール等が多く排出されていた事が原因だと考えられる。

水については、会社待機時間が増えた事が原因だと考えられる。

4. 環境活動計画内容

下記に挙げる各項目の使用抑制・削減を念頭に、以下のような取組を実施いたしました。

項目	計画取組内容
電力	事務所内照明及び各電源のこまめな消灯
	冷房28℃暖房20℃の温度設定管理の徹底
	自然光の効率的な利用
ガソリン	乗り合わせ、運行コースの見直し推進
	エコドライブの徹底
廃棄物	分別の徹底、リサイクル促進及びこれらの表示設置
水道	節水徹底の周知
	節水を呼びかける表示の設置
紙	裏紙・両面コピーの利用、プリンタ使用方法の工夫
	データの電子交換によるペーパーレス化促進
	使用済み封筒の活用、シュレッダー使用の抑制
社内の緑化	社内の緑化
省エネ製品の推奨	客先へ省エネタイプの製品を推奨、提案

5. 取組結果の評価と次年度の取組

前項で挙げた計画取組内容に対する評価結果は以下の通りです。

定例会議や朝礼の場を活用し、代表者及び環境管理責任者を中心に繰り返し啓蒙に努めました。

項目	計画取組内容	評価結果
電力	事務所内照明及び各電源のこまめな消灯	業務を行う必要箇所に限って使用するよう留意できた。休憩時間や会議室使用時等不要な電気はこまめに消灯できていた。
	冷房28℃暖房20℃の温度設定管理の徹底	社内へも表示を設置し、常に意識を持つよう呼びかけた。
	自然光の効率的な利用	過ごしやすい気候の時期は、窓やブラインドの開閉を工夫してうまく活用できていた。自然の力を借りることで作業効率のアップを図れた。
ガソリン	アイドリングストップ	昨今の原油価格変動に伴い、ガソリンの価格も変動がかなりあった。少しでも消耗を抑えるべくエコドライブとあわせて呼びかけを継続している。
	エコドライブの徹底	「無事故・無違反チャレンジ200日」へ参加し、安全とエコの両立を図った。結果は1チーム達成。来年は更に達成できるよう前向きに取り組むべく準備をしている。
廃棄物	分別の徹底、リサイクル促進	廃棄物の排出量を抑制することももちろんだが、排出する際の分別・リサイクルを徹底することで、ただの“ゴミ”となる一般ゴミ削減につながるということを度々伝えるよう努めた。
水道	節水徹底の周知	使用量はもともと少ないが、油断せず、手洗いやトイレでの無駄な使用をしないよう呼びかけた。
	節水を呼びかける表示の設置	継続的に表示を設置している。
紙	裏面・両面コピーの利用、プリンタ使用方法の工夫	作業効率化を目的とし昨年よりコピー機の設置台数を増加した為、使用が増えた。引き続き裏紙や両面コピーの推奨をしていきたい。
	データの電子交換によるペーパーレス化促進	社内：専用ネットワーク、スキャナの活用 社外：メール、メディアによるデータの交換 これらにより、紙ベースでの情報交換を抑えられている。また、機密情報漏洩防止にも役立てられている。
	使用済み封筒の活用	内部資料の管理、シュレッダー使用抑制に役立てている。
社内緑化	社内の緑化	事務所内外に緑を配置することでリフレッシュと季節感を味わえ、効果的であった。また、花壇等の手入れが行き届いていれば、会社の清潔さもアピールできる。
省エネ製品の推奨	客先へ省エネタイプの製品を推奨、提案	現在は省エネタイプの製品が数多く、客先にとっても有益である為、空調機・給湯器等を設計・見積もり段階で提案、推奨できている。

上記事項を次年度も継続して取り組むこととする。

6. 環境関連法規等順守状況

順守評価日:平成29年7月11日

法規	対象設備等	法規制要求事項	評価
廃棄物処理法	産業廃棄物 (廃プラ、廃金属ほか)	①処理委託(運搬、処分)は許可を受けた者に委託し、委託契約書には廃棄物の種類、数量、運搬先所在地、処分先所在地、処分法、施設の能力などを記載(法12条5,6) ②産業廃棄物管理表(マニフェスト)の管理(法12条3) ・B2、D票が90日、E票が180日以内に返却が無い場合、又は虚偽記載の場合は30日以内に知事に報告。A票は5年間保存。 ・毎年6月30日迄に前年度の管理票交付状況を知事に報告。 ③保管場所には掲示板(60cm×60cm以上)を設置する(法12条2)廃棄物の種類/保管場所の管理者と連絡先/保管可能量	順守している
省エネ法	電力 ガソリン 軽油	すべての事業者はエネルギーの使用と合理性に努めるとともに、電気の需要の標準化に資する措置を講ずるよう努める(努力義務)(法4条)	順守している
グリーン購入法	官庁工事 事務用品	事業者及び国民は、できる限り環境物品等を選択するように努めるものとする(法5条)	順守している
フロン排出抑制法	空調機 ・7.5kw未満 10台	①利用者の設備管理 ・7.5kw未満は3ヶ月毎に簡易点検を行い、記録を保管する ・7.5kw以上は3年毎に定期点検を行い、記録を保管する。又冷媒漏洩検査を行う。 ②冷媒の回収管理 ・整備する場合、廃棄する場合は、許可を受けた回収業者に委託する(法18条の2、法19条) ・第1種特定製品の廃棄者は、回収依頼書を3年間保管する(法の19の3) ・廃棄者は回収業者は発行する取引証明書を3年間保管する(法20条の3)	順守している
建設リサイクル法		対象建設工事(修繕・模様替工事1億以上。工作物の解体・新築工事5百万円以上ほか)の施工者は下記を遵守する。 ・設計及び資材の選択、施工方法の工夫により、廃棄物の発生を抑制するとともに、分解解体等及び抑制するとともに、分解解体等及び廃棄物の再資源化に要する費用を低減する。	順守している

過去3年間にわたり、法規違反はありませんでした。

また、訴訟ならびに近隣住民からの苦情、関係機関からの指摘も過去3年にわたりありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直の結果

計画目標を達成しており、引き続き従業員一人一人の意識定着を望むエコ商品の推奨など、時代のニーズに沿った提案を得意先へ行うとともに当社としても環境を考慮した取組を進めていきたい。

環境目標、環境活動計画総括

作成日	平成29年7月11日
作成者	中村郁恵
代表者承認	責任者承認

項目	環境目標（全項目、前年比1%削減）					環境活動計画	
	単位	28年度目標	28年度実績	目標達成状況	評価	実施状況	評価
電力 二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	42,528	45,932	未達成 (93%)	H28年夏季厳しい暑さで温度調節が難しかった。	○	空調機・照明等、必要箇所に限った使用が浸透している。今後も継続していきたい。
	kWh	60,238	65,060				
化石燃料					社有車保有台数増加、遠方の現場が増えた事が原因だと思われます。	○	エコドライブの実施が浸透している。継続して徹底を呼びかけていく。
ガソリン 二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	133,941	145,139	未達成 (92%)			
	ℓ	57,733	62,560				
軽油 二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	6,574	7,472	未達成 (88%)			
	ℓ	2,509	2,852				
化石燃料二酸化炭素排出量合計	Kg-CO ₂	140,514	152,611	未達成 (92%)			
水	Kg	203,445	240,000	未達成 (85%)	会社待機増加によるものだと思います。	○	継続的節水を呼びかけていく。
産業廃棄物	Kg	65,439	45,700	達成 (143%)	達成できたことから引き続き取り組みを行う。	○	無駄の見直し、分別徹底を継続していく。
一般廃棄物(紙類)	Kg	9,306	10,600	未達成 (88%)	資材の入荷数が多かったものだと思います。	○	分別の徹底を継続する。

※環境活動計画実施状況

○ … 計画通り進められた △ … ほぼ計画通り進められた × … 計画通り進められなかった

環境活動計画

作成日	平成29年7月11日
作成者	中村郁恵
代表者承認	責任者承認

項目	取組	内容	主担当
電力削減	事務所内照明及びエアコンの使用範囲管理	電源のON/OFFを要するものについて、いずれも必要な時に必要な箇所のみを使用に限る。	武野
	冷房28℃暖房20℃の温度設定管理の徹底	夏は冷房の設定温度28℃、冬は暖房の設定温度を20℃にし、温度設定管理を徹底する。あわせて表示も設置し、一層の啓蒙を図る。	
	自然光の効率的な利用	ブラインドや窓を適宜開け、自然光を効率的に取り入れることで電力使用を抑制するよう努める。	
化石燃料削減	アイドリングストップ	停車時には必ずエンジンを止める。	近田
	エコドライブの徹底	空ぶかしなどをせず、適切な速度で運転するよう心がける。また、余裕をもった行動をするよう心がける。	
	安全運転、エコドライブ啓蒙資料の提示	余裕を持った行動、安全運転を心がけることで化石燃料使用抑制を促す旨の資料の回覧、掲示をする。	
水道水削減	節水徹底の周知	気づいた時などに節水を呼びかけ合えるよう各々が心がける。	中村
	節水を呼びかける表示の設置	蛇口付近や、ふと目を向ける場所に節水を呼びかける表示を設置することで、常に意識するよう促す。	
廃棄物削減	分別の徹底、リサイクル促進	明確な分別表示及びゴミ箱の設置により、リサイクル促進に努める。	藤田
紙削減	裏紙・両面コピーの利用	社内書類やメモ用紙などには裏紙や両面コピーを大いに活用していく。	山田
	ペーパーレス化への意識	社内PC上のネットワークやメール、スキャナの活用により、ペーパーレス化と紙ベース書類交換による機密情報漏洩防止を図る。	
	使用済み封筒の活用	社内での書類配布等には使用済み封筒を活用するよう呼びかける。	
グリーン購入	再生紙・リサイクル可能製品の優先的購入	リサイクル促進製品の優先的購入と、使用頻度の高いものを3品目選択し、重点的に配慮購入する。	小林
環境活動	社内の緑化	生花など植物を増やして社内の緑化を図ることで、リフレッシュを促し作業効率アップを期待する。	
省エネ	客先への省エネ製品の推奨	空調機は高APF機の推奨、フィルターは自動掃除機能の推奨、便器は節水型の推奨、給湯器はエキキュート・エコジョーズの推奨を積極的に提案する。	営業・設計

環境目標

作成日	平成29年7月11日
作成者	中村郁恵
代表者承認	責任者承認

環境目標は以下の表に示す。

短期目標の平成28年度は全ての項目について前年比1%の削減を目指す。

また、中長期目標としては全ての項目で平成31年度で平成28年度比3%の削減を目標とする。

項目	単位	平成28年度	【目標】対平成28年度比 毎年1%削減			
		実績	(短期) 平成29年度	平成30年度	平成31年度	(中長期) 平成32年度
電力 二酸化炭素排出量	Kg-CO2	45,932	45,473	45,018	44,554	44,095
	kWh	65,060	64,409	63,765	63,108	62,458
化石燃料						
ガソリン 二酸化炭素排出量	Kg-CO2	145,139	143,688	142,251	140,785	139,334
	ℓ	62,560	61,934	61,315	60,683	60,058
軽油 二酸化炭素排出量	Kg-CO2	7,472	7,398	7,323	7,248	7,173
	ℓ	2,852	2,823	2,795	2,766	2,738
化石燃料 二酸化炭素排出量合計	Kg-CO2	152,611	151,085	149,574	148,033	146,507
二酸化炭素排出量 合計	Kg-CO2	198,543	196,558	194,592	192,587	190,602
産業廃棄物	Kg	45,700	45,243	44,791	44,329	43,872
一般廃棄物(紙類)	Kg	10,600	10,494	10,389	10,282	10,176
水	Kg	240,000	237,600	235,224	232,800	230,400

○化学物質使用量は微量の為、現状維持に努める

○グリーン購入について

再生紙・リサイクル可能製品の優先的購入を続ける。

具体的には、使用頻度の高い、1. トイレットペーパー、2. フラットファイル、3. 作業服の3品を重視して購入する。

○自らが施工・販売・提供する製品及びサービスに関する項目

省エネ製品の推奨（詳細は環境活動計画に準ずる）

作成日	平成29年7月4日
作成者	近田幸典
代表者承認	責任者承認

山陽技研株式会社 組織表

(1建築士)
(1管施)
(1土施)
(消防)

会長 イシト 石戸翼

代表取締役社長 イノウエ イサ オ 井上沙緒

- ・環境への取組を実施するために必要な資源準備
- ・環境管理責任者の任命

総務部
(総務・経理・人事)

管理部
(設計・積算・現場管理・現場施工)

常務取締役
総務部長 コンダ ユキノリ 近田幸典

(1経理士)

専務取締役管理部長
技術部長 フジタ ショウヘイ 藤田昌平
ムラカミ ミノル 村上稔

(1管施) (消防)

(1管施) (消防)

- ・現場担当者全体へ環境への取組啓蒙

- ※ISO14001環境管理責任者
- ※EA21 環境管理責任者
- ・安全運転管理

環境管理責任者および環境管理
担当者は、代表者に代わってガイド
ラインの要求事項を満たす環境
経営システムを構築・運用する。

係員 コバヤシカズエ 小林和枝

- ・ゴミの分別および社内緑化

係員 ナカムライクエ 中村郁恵

- ※EA21 環境管理担当者

(設計・積算/営業) (管 理) (施 工)

課長 マツムラモトヒロ 松村基弘
(1管施)(消防)

係長 ツツミキヨシ 堤仁利
(1管施)

営業次長 オダ ヒロト 小田浩人
(2管施)

営業課長 アサダ ヒロノブ 浅田浩信
(1管施)

主任 タケノ エリコ 武野絵里子
(1管施)(消防)

- ・省エネ推進

(設計・積算/営業)
・客先への省エネ製品推奨

作業所長 ワタナベグンジ 渡辺郡治
(1管施)(1土施)(消防)

作業所長 ニシウラノブユキ 西浦伸行
(1管施)(消防)

作業所長 タナカ レイ 田中礼
(1管施)

作業所長 イノウエトモユキ 井上智幸
(1管施)(消防)

作業所長 シミズ マサシ 清水正俊
(1管施)(消防)

作業所長 ヤマグチユタカ 山口豊
(1管施)

作業所長 イセ モトヒロカズ 伊勢本浩一
(1管施)(消防)

作業所長 ミヤケ ショウタ 三宅翔大
(1建築士)(1管施)(消防)

作業所長 トダ ユウヤ 戸田裕也
管施)(1配管)(基幹)(消防)

課長 ヨシダ ミネコ 吉田美根子

主任 ヨシナガ カズノリ 吉永一徳
(1管施)(1土施)(消防)

主任 イタノ マナブ 板野学
(2管施)(1配管)(消防)

主任 ヤマダ アキコ 山田亜紀子
(2管施)

- ・ペーパーレス化推進

主任 ミキ コウヘイ 三木康平
(2管施)(消防)

主任 フジワラ タカヒロ 藤原孝博
(2管施)

係員 ナカニシリュウヤ 中西龍也
(消防)

係員 ヤマシタ ハジメ 山下一
(2管施)(2土施)

係員 オオツキヒロト 大月寛人

係員 アカギ リョウヘイ 赤木涼平

係員 サイトウ コウタロウ 斎藤光太郎

係員 オノ カズキ 小野算起
(2管施)(消防)

係員 ハラダ カズキ 原田和希

班長 サトウ ジュンイチ 佐藤順一
(1配管)

班長 キダ コウジ 喜田浩司
(2管施)(1配管)

班長 ヒノ カフキョウスケ 樋川享介
(2管施)(1配管)

班長 ナルイン ツヨシ 鳴石剛
(1配管)

班長 ミヤモト サトシ 宮本智
(2管施)(1配管)

班長 タカミ ユキオ 高見幸雄
(1配管)

係員 オカナオト 岡直人
(2管施)(1配管)(消防)

係員 イケダ マサシ 池田昌史

係員 ヤマグチユウタ 山口優太

係員 イマオカ リョウタ 今岡亮太

係員 タケイ ユウサク 竹井雄作

係員 ヤブイ ユウ 藪井優

係員 アダチ ヒロユキ 足立裕行

係員 ウミノ ケイジ 海野恵次

(1・2建築士)	1・2級建築士	1	1
(1・2経理士)	1・2級建設業経理士	1	0
(1・2管施)	1・2級管工事施工管理技士	17	11
(1・2土施)	1・2級土木施工管理技士	3	1
(1・2配管)	1・2級配管技能士	9	0
(消防)	消防設備士	17	

48名

環境関連法規等取りまとめ

作成日	平成29年7月11日	
作成者	中村郁恵	
代表者承認	責任者承認	

項目	関連法規等	届出基準	届出要否	締結年月日	対応状況	更新時期	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
廃棄物	廃棄物処理法	全て	委託処理契約	平成21年8月1日	委託処理契約の締結	自動更新	7/16	7/1	7/12	7/1		
							近田	近田	近田	近田		
マニフェスト	廃棄物処理法	全て			5年間の保存・管理		7/16	7/1	7/12	7/1		
							近田	近田	近田	近田		
再生品等の調達	グリーン購入法						8/29	7/1	7/12	7/1		
							近田	近田	近田	近田		
電力	省エネ法						8/29	7/1	7/12	7/1		
							近田	近田	近田	近田		
施工時	大気汚染防止法						8/29	7/1	7/12	7/1		
							近田	近田	近田	近田		

外部からの苦情等の受付結果

作成日	平成29年7月11日
作成者	中村郁恵
代表者承認	責任者承認

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
苦情等受付状況	なし	なし	なし	なし		

環境負荷まとめ

作成日	平成29年7月11日
作成者	中村 郁恵
代表者承認	責任者承認

項目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
		実績	実績	実績	目標、1%削減、対前年度比	目標、1%削減、対前年度比	目標、3%削減、対27年度比
電力 二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	44,320	43,748	45,932	45,473	45,018	44,554
	kWh	61,641	60,846	65,060	64,409	63,765	63,108
化石燃料 ガソリン 二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	131,964	135,293	145,139	143,688	142,251	140,785
	ℓ	56,881	58,316	62,560	61,934	61,315	60,683
軽油 二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	11,355	6,639	7,472	7,398	7,324	7,248
	ℓ	4,334	2,534	2,852	2,823	2,795	2,766
化石燃料 二酸化炭素排出量合計	Kg-CO ₂	143,319	141,932	152,611	151,085	149,574	148,033
水	Kg	191,500	205,500	240,000	237,600	235,224	232,800
産業廃棄物	Kg	68,400	66,100	45,700	45,243	44,791	44,329
一般廃棄物(紙類)	Kg	13,700	9,400	10,600	10,494	10,389	10,282

環境負荷(実績)

作成日	平成29年7月11日
作成者	中村郁恵

電気

単位 kWh

年/月	15-7	小計	8-4(新社屋)		小計	合計
28.7	4,852	4,852	123	147	270	5,122
8	5,338	5,338	171	180	351	5,689
9	6,334	6,334	135	193	328	6,662
10	5,073	5,073	139	153	292	5,365
11	3,792	3,792	110	130	240	4,032
12	4,479	4,479	138	143	281	4,760
29.1	5,195	5,195	159	160	319	5,514
2	6,091	6,091	146	135	281	6,372
3	6,302	6,302	144	140	284	6,586
4	6,078	6,078	178	171	349	6,427
5	3,752	3,752	127	128	255	4,007
6	4,239	4,239	140	145	285	4,524
					合計	65,060

年度毎比較 kwh

平成27年度使用量 60,846

平成28年度使用量 65,060 約6%増加

環境負荷(実績)

作成日	平成29年7月11日
作成者	中村郁恵

水道		単位 m ³		
年/月	15-7	8-4(新社屋)	小計	総合計
28.6	37	3	40	20.0
7				20.0
8	42	3	45	45
9				
10	36	2	38	38
11				
12	39	0	39	39
29.1				
2	34	2	36	36
3				
4	37	1	38	38
5				
6	43	5	48	24.0
7				24.0
			合計	240.0

年度毎比較

平成27年度使用量 205.5 m³

平成28年度使用量 240.0 m³

約17%増加

環境負荷(実績)

作成日	平成29年7月11日
作成者	中村郁恵

燃料	単位 0		
年/月	ガソリン	軽油	合計
28.7	4,800.15	216.00	5,016.15
8	4,673.48	58.96	4,732.44
9	5,157.03	212.83	5,369.86
10	5,184.24	426.86	5,611.10
11	5,563.12	353.31	5,916.43
12	5,643.07	203.95	5,847.02
29.1	4,501.29	95.51	4,596.80
2	6,066.56	293.41	6,359.97
3	5,211.27	264.50	5,475.77
4	5,802.80	306.41	6,109.21
5	4,463.67	188.13	4,651.80
6	5,493.11	232.07	5,725.18
合計	62,559.79	2,851.94	65,411.73

年度毎比較

	平成27年度	平成28年度	
ガソリン	58,315.68	62,559.79	約7%増加
軽油	2,533.94	2,851.94	約12%増加
	60,8500	65,4120	

環境負荷(実績)

作成日	平成29年7月11日
作成者	中村郁恵

m³をtに換算(小数点以下第二位を四捨五入)

産廃		単位 t				
年/月	廃プラスチック類	がれき	金属くず	コンクリートがら	紙	月次合計
28.7	1.4	2.1	1.8	0.0	0.7	6.0
8	1.4	0.0	3.6	0.0	0.6	5.6
9	1.4	0.0	0.0	0.0	0.7	2.1
10	2.8	0.0	3.6	0.0	1.1	7.5
11	2.1	1.5	0.0	0.0	1.1	4.7
12	1.4	0.0	1.8	0.0	1.1	4.3
29.1	2.8	1.5	1.8	0.0	0.8	6.9
2	1.4	0.0	1.6	0.0	1.8	4.8
3	1.8	0.0	1.8	0.0	0.8	4.4
4	1.4	0.0	1.8	0.0	0.5	3.7
5	3.2	0.0	1.8	0.0	0.8	5.8
6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6
項目合計	21.0	5.1	19.6	0.0	10.6	56.3

年度毎比較					
平成27年度			平成28年度		
廃プラスチック類	28.3	t	廃プラスチック類	21.0	t 約26%減少
がれき類	11.9	t	がれき類	5.1	t 約58%減少
金属	25.3	t	金属	19.6	t 約23%減少
コンクリートがら	0.6	t	コンクリートがら	0.0	t 約-%減少
紙	9.4	t	紙	10.6	t 約12%増加
合計	75.5	t	合計	56.3	t

代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

作成日	平成29年7月11日
作成者	近田幸典
代表者承認	

◆環境管理責任者からの報告

項目		指示内容など
環境方針		追加・変更なし
環境目標	CO2	追加・変更なし
	廃棄物	
	水	
環境活動計画		追加・変更なし
環境経営システム等		

◆代表者による評価

項目		指示内容など
環境方針		特になし
環境目標	CO2	特になし
	廃棄物	特になし
	水	特になし
環境活動計画		特になし
環境経営システム等		特になし
その他		エコ商品の推奨など、時代のニーズに沿った提案を得意先へ行うとともに当社としても環境を考慮した取組を進めていきたい。

作成日 平成29年7月11日

作成者 近田 幸典

事故及び緊急事態の想定結果及びその対応策		承認	
		代表者	責任者
実施日・場所	平成29年2月28日 ・ 新社屋2階 会議室にて		
参加人員	46名		
訓練責任者	近田総務部長		
想定内容	交通事故発生のケース ・対応マニュアルの確認(各車にて保管)…重要性再確認 ・ケガ人保護及び二次災害回避後、近田部長への連絡を徹底(不在の場合は他役員) ・事故報告書の作成、回覧(再発予防)		
想定結果	・実例も踏まえつつ、万が一を想定した具体的な訓練ができた。		
手順変更の要否	なし		
備考			

作成日 平成29年7月11日

作成者 近田 幸典

事故及び緊急事態の想定結果及びその対応策		承認	
		代表者	責任者
実施日・場所	平成29年3月30日 ・ 新社屋2階 会議室にて		
参加人員	46 名		
訓練責任者	近田総務部長		
想定内容	①事務所火災発生の場合 ・初期消火及び消防への通報 ・社内環境管理責任者(近田部長)及び現場責任者(藤田部長)へ連絡 ・鎮火しない場合は非難誘導(ケガ人保護) ・点呼確認		
	②現場火災発生の場合 ・初期消火及び消防への通報 ・社内環境管理責任者(近田部長)及び現場責任者(藤田部長)へ連絡 ・鎮火しない場合は非難誘導(ケガ人保護) ・点呼確認		
想定結果	・実例も踏まえつつ、万が一を想定した具体的な訓練ができた。		
手順変更の要否	なし		
備考			

問題点の是正措置及び予防措置の結果

作成日	2017年7月11日
作成者	近田幸典
代表者承認	責任者承認

今年度、該当なし